

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第150号	氏名	本吉康英
学位審査委員	主査 由井克之 副査 佐藤伸一 副査 兼松隆之		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 シクロホスファミドの抗腫瘍効果について、制御性T細胞の選択的除去による免疫調節作用の観点から解析しており妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 マウスの肝癌細胞接種モデルを用い、高用量あるいは低用量シクロホスファミドの抗腫瘍効果の機序について様々な角度から検討しており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 抗癌剤の作用機序には、腫瘍細胞に対する直接的作用と免疫調節による間接的抗腫瘍効果とがあるが、薬剤量により異なる機構が作用することを明らかにしており、十分に評価できる。</p> <p>以上のように本論文は抗癌剤の作用機序解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			